

令和6年第6回横手市議会9月定例会 一般質問要旨

■ 一般質問の日程

令和6年9月4日(水)～6日(金)午前10時～ 本会議

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議員名	質問区分	頁
4日	1	6番	本間利博議員	一問一答	1
	2	24番	菅原正志議員	一問一答	2
	3	22番	播磨博一議員	一問一答	3
	4	7番	加藤勝義議員	一問一答	4
5日	5	17番	立身万千子議員	一括	6
	6	2番	井上忠征議員	一括	7
	7	25番	齋藤光司議員	一括	8
	8	12番	福田誠議員	一括	10
6日	9	16番	鈴木勝雄議員	一括	12
	10	1番	土田百合子議員	一括	13
	11	4番	宮川拓也議員	一問一答	15
	12	14番	大日向香輝議員	一括	16

※質問区分の説明

一括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。

一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から1つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【6番 本間 利博 議員】（一問一答）

1. 市長所信説明から不祥事並びに事務ミスにともなう給与減額について

- 1) 減額の基準について伺う
- 2) 対象者について伺う
- 3) 今後の取り組みについて伺う

2. クマ対策について

- 1) 緩衝帯整備について伺う
- 2) センサーカメラの積極的な活用について伺う
- 3) 令和6年度獣害防止対策事業（電気柵・誘引樹木伐採）助成について伺う

2. 【24番 菅原 正志 議員】（一問一答）

1. 設置目的に合った地区交流センター活動となっているか

- 1) 自主・自立の運営をさらに進めるための改善点について伺う

2. 質の高い職員を育成するために取り組まれていることは何か

- 1) 公平・公正、質の高い接遇が正職員・会計年度任用職員問わず徹底されているか伺う
- 2) 事務ミス防止策について伺う

3. 大森浄化センターは現在どのような状況か

- 1) 市としての認識と取り組みについて伺う

4. 山と川のある町をイメージさせる横手市において横手川の景観をどう改善していくのか

- 1) 市としてできることは何か伺う

3. 【22番 播磨 博一 議員】（一問一答）

1. 令和6年7月24日～25日豪雨災害について

- 1) 被害の状況は
- 2) 今後の支援策について
- 3) 農地・農業用施設の復旧のメドはいつ頃か
- 4) 内水氾濫の可能性が高い。ハザードマップ上では浸水地域ではないほ場に排水路からの逆流で被害が出ている。個人では対策の打ちようがない。全体で監視できないものか市から働きかけてはどうか
- 5) 避難指示が出されたが、その経緯、経過を伺う

2. なお一層の市民サービス向上と職員業務の効率化をめざして

- 1) 書かない窓口導入の取り組みについて
 - ①これまでの検討の状況と今後の具体的な取り組みは。

4. 【7番 加藤 勝義 議員】（一問一答）

1. 新市民会館建設計画について

1) 見直し内容について

- ①本年3月7日予算決算委員会総務文教分科会で、新市民会館整備事業見直しのスケジュールが示された。それによると本年7・8月に見直し内容決定となっている。見直した内容を伺う。

2) 財源について

- ①8月19日の行政課題説明会で、新市民会館建設の財源の一つにするために、国の「暮らし・にぎわい再生事業補助金」の活用を見込み、中心市街地活性化基本計画を策定し認定を受ける必要があるとして、その素案が提示された。暮らし・にぎわい再生事業補助金を含む国庫補助金や地方債、一般財源を含む整備に係る財源と概算事業費を伺う。

3) ライフサイクルコストについて

- ①市民会館建設のための、初期投資費用（イニシャルコスト）の財源調達だけが重視されている。大切なのは、建設後に施設を使い続ける必要経費（ランニングコスト）である。一般にランニングコストは、イニシャルコストの3から5倍かかると言われている。近年、ランニングコストは年間の人件費、材料費、エネルギー費に大きく影響され、これらの費用上昇が予想される。また、市民会館の管理運営費は事業収入と使用料だけではまかなえない。多くの公費負担が発生する。施設整備は、「企画」からはじまり「設計」「建設」「運用」「解体」までの費用の流れでライフサイクルコストと言われ、イニシャルコストとランニングコストの合計である。ライフサイクルコストは新市民会館の使用期間を60年とした時、金額は幾らと見込んでいるか。

2. 果樹の腐らん病について

1) 防除と対策について

①腐らん病は、りんごに感染する枝幹病害であり、防除が困難な病害の一つで最終的には樹全体を枯死に至らしめる重要病害である。秋田県での、腐らん病の発生は2013年から増加し始め、昨年は全県での発病樹率は約5%である。感染から発病まで、数カ月から1年以上の潜伏期間がある。感染した枝や主幹は切除や伐採して伝染源を除去し、土中埋設や焼却しなければならない。横手市での、腐らん病発生状況を伺う。

②腐らん病は、早期発見が重要と言われているが、放任園での発病が問題となっている。横手市では、放任園の位置と面積は確認しているか。

③近隣の園主が、放任園で腐らん病を発見しても、なかなか対応していただけない事もあるという。共同防除組合員は、お互いに情報共有して対応しているようだが、まずは放任園解消が病害虫予防の一つと考えるが、市の考えを伺う。

3. 市営住宅等について

1) 指定管理業務について

①平成31年から市営住宅等の管理は、指定管理者により行われてきた。今年4月に令和6年から令和10年までの指定管理者の更新があった。指定管理者には、市民生活の安定と社会福祉の増進のもと事業推進していただいている。維持管理事業の中に、一般委託として住宅周辺の草刈り（除草）業務があるが、どの範囲で何回行われる計画なのか伺う。

5. 【17番 立身 万千子 議員】（一括質問一括答弁）

1. 国民健康保険制度の実態と今後の方向について

1) 2018年国民健康保険法改正により、保険者が県と市とになった。以後6年が経過した今、市の組織機構の変化の影響と、次の点を問う

①「都道府県国保運営方針の改定に向けたガイドライン」によれば、「令和6年4月」から新たに必須記載事項と努力義務が課されている。特に、保険料水準の統一（基本的考え方・定義・目標年度・組織体制・スケジュールの記載）と医療費適正化（予防・健康づくり、重症化予防等）、さらに事務の広域化・標準化とそのスケジュール・財政安定化基金（財政調整事業分）の活用方法に関する事項について「技術的助言」が出されたことに対しての市の方針を問う。

2) 国保会計の基金活用を国保加入者と世帯のために、深刻に考えるべきと思う。「均等割については国が手だてすべき」という市長の答弁が過去にあった。しかし、他自治体では様々な支援金・応援金を創設し、国に一元化するのではなく、市の工夫により市民の負担軽減策を講じている。横手市での工夫はどうか問う

2. 各集落や町内における災害対応について

1) 先般の大雨により、市全体をリードする対策本部、各避難所運営、そして水が引いた後の片づけに難儀された職員の労苦をねぎらう。しかし、小規模単位の集落や町内での避難指示・呼びかけが届きにくく、孤立があやぶまれる所もあった。日常の支えあい・地域活動の必要性をどう具体的に解決していくか、後日のヒアリングが大切と考えるが、市ではどう話しあい総括しているか問う

6. 【2番 井上 忠征 議員】（一括質問一括答弁）

1. 都市計画道路「横手中央線」について

- 1) 進捗状況について伺う
- 2) 道路はどのような形態になるのか伺う
- 3) 今後の作業見通しについて伺う

2. 感染症予防対策について

- 1) 手洗いを重視した取り組みについて伺う
- 2) 保育所や小学校などの施設において、手洗い場に温水機能を付加することについて伺う
- 3) ワクチン接種の効果について伺う

3. 市の施設に設置されている自動販売機の活用について

- 1) 広報媒体としての活用を伺う
- 2) 災害発生時の活用状況を伺う

7. 【25 番 齋藤 光司 議員】（一括質問一括答弁）

1. 横手市の災害対応（内水氾濫対策）に問題はないか

1) 今年7月の豪雨の際の対応について

- ①市として時系列の中でどういう対応を取られたか。
- ②被害の集計はまとまったか。
- ③上記（①、②）の経験・結果を受け、その後の台風5号、台風10号にどう生かし、対策を取ったのか。
- ④気象庁発表の住民に対しての災害警戒レベルと呼応して市が具体的にどのような対策を取るのか。
- ⑤河川法の中では、一級・二級・準用河川・普通河川の4つに分類され、国・県・市町村と管理・管轄が分かれているが、市民生活を守るため、緊急時、平時、どのような連絡、調整をされているのか。
- ⑥市民は災害、緊急時どこに連絡、救助を求めればいいのか。
- ⑦市が作ったハザードマップは良く出来ていると思うが、住民への周知、理解といった活用は十分だったか。
- ⑧法定外公共物である用水路、排水路の所有者は平成17年3月31日までに国から市町村に譲与され、市町村が管理をすることになっている。市として、今どのように管理をされているのか。また、それが住民により身近な地域局と共有されているか。
- ⑨法定外公共物の維持管理は受益者負担が原則であることは理解するが、雨水、洪水対策として農業者だけに押しつけるわけにはいかないと思うが、市として支援も含めて責任をどうとらえているか。
- ⑩上記（⑨）をふまえ、雄物川筋土地改良区等（受益者）との意見交換の頻度はどれ位あるのか。また、種々の問題が共有できているか。問題発生時の調整の取り方、

責任の取り方をどう考えているのか。

- ①廃堰の数、場所を市として把握されているか。また、廃堰された後の管理はだれが責任をもつのか。

8. 【12番 福田 誠 議員】（一括質問一括答弁）

1. はり・きゅう・マッサージ施術券の利用促進について

- 1) 高齢者向けはり・きゅう・マッサージ施術券の対象年齢引き上げによる影響
- 2) 子育て世代へのはり治療等、新たな対象層への施策検討の提案

2. 発酵食文化と日本酒を活用した「発酵のまち」のブランド力向上策について

- 1) 横手市の発酵食文化の再認識と次世代への継承
- 2) 日本酒と発酵食品を活用した地域ブランドの強化と観光・地域活性化の推進

3. A o - n a 開館における「e スポーツ」イベントの活用について

- 1) イベント開催に必要な W i - F i 等設備について
- 2) 高齢者の健康維持と交流促進を目的とした e スポーツ導入について

4. 今年度の学力テストの結果を踏まえた学力向上に向けた取り組みについて

1) 全国学力テスト結果の分析と課題を問う

2) 中学数学の「箱ひげ図」を使って読み解く記述式問題について

9. 【16番 鈴木 勝雄 議員】（一括質問一括答弁）

1. 農業振興について

1) 水張り5年間ルールを伺う

2) あきたこまちRについて

2. 市営温泉について

1) 公募の状況について伺う

2) 今後の対応とスケジュールについて

10. 【1番 土田 百合子 議員】（一括質問一括答弁）

1. 災害対策について

1) 横手川・大戸川の合流地点のしゅんせつ工事について

- ①黒川地区では、大雨により横手大戸川が氾濫する恐れがあるとして流域の住民に避難指示が発令されたが、今後の管理について伺う。

2) 「気象防災アドバイザー採用」の考えについて

- ①気象防災アドバイザーは、地域の気象災害情報に詳しく、自治体の防災対策を支援する専門家である。当市においても、「気象防災アドバイザー」を採用し、異常気象による豪雨災害などに対して、災害発生前からの適切な対応が取れる体制を更に強化しておくことが重要だと考えるがどうか。

2. 不登校支援について

1) 「COCOLOプラン～誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策～」を受けての不登校支援の推進について伺う

- ①不登校の子どもの保護者であれば誰でも自由に参加できる「保護者の会」を設置し、そこに、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーをコーディネーター役として派遣し、不登校の子どもの保護者を支援していくことが必要と考える。「COCOLOプラン」を受けての、今後の当市の考えを伺う。

- ②教室に行きづらくなった児童生徒が、学校内で落ち着いて学習できる環境「スペシャルサポートルーム」等を全ての小中学校に設置する必要があると思うが、現在の設置状況と今後の取り組みについて伺う。

- ③学校の授業を不登校の子どもの自宅や、校内のスペシャルサポートルーム等、また、教育支援センター（南かがやき教室・西かがやき教室）に配信し、オンライン指導できる指導体制を確立すべきだと思うが、その現状と今後の取り組みについて伺う。

- ④教育と福祉の連携により支援体制を確保することについては、令和6年6月議会一般質問の答弁の中で述べられているが、今後の取り組みについて伺う。

3. 投票しやすい環境整備について

- 1) 6月定例会一般質問の答弁では「ソフト面での取り組みについては、投票支援カードとコミュニケーションボードの導入も検討する」との事だったが、その後の検討結果を伺う

- 2) 障害のある方への「対応マニュアル」を作成し、取り組む考えについて伺う

4. 子ども権利条例制定について

- 1) 横手市では、平成20年10月に子どもの権利を尊重するまちであることを宣言している。今、社会は「こどもまんなか社会」を推進していることから第3次横手市総合計画の策定にあたり、併せて「子ども権利条例」を制定して、取り組む考えについて伺う

11. 【4番 宮川 拓也 議員】（一問一答）

1. 児童生徒の登下校について

- 1) 一部でスクールバスが運行しているが、利用にあたっての条件は

- 2) 利用条件の拡大の考えは

2. 「議案第 86 号横手市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例」について

- 1) 今回の条例改正について消防団員に期待することは

- 2) 給与の適正な個人支給をどう行うのか

- 3) 休団制度のねらい

3. 大規模災害時の対応について

- 1) 震災などで集落に大きな被害が及んだ際の対応は

- 2) コンパクトシティについての市長の考えは

12. 【14番 大日向 香輝 議員】（一括質問一括答弁）

1. 観光誘客について

1) 横手市オンデマンド空港送迎サービス「よこてWARP」の持続可能性と効果的な運用について

①通年での誘客施策について。

②ビジネス利用の促進について。

2) 地域の伝統文化について

①継承に困難を抱えている現状について。

②学校教育の中にこれらの伝統芸能を積極的に取り入れることはできないか。

2. 災害時における避難所運営および避難者支援の課題と改善提案について

1) 避難所における食料の供給体制について

2) 避難所での就寝環境について

3) 避難者情報のデジタル化について

令和6年9月定例会日程予定【会期26日間】

- **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます —
- ◇8月26日（月） 〔開会〕議案上程 ほか
 - ◇9月 4日（水） 一般質問
 - ◇9月 5日（木） 一般質問
 - ◇9月 6日（金） 一般質問
 - ◇9月20日（金） 委員長報告・採決 ほか 〔閉会〕
— 傍聴席は本庁舎7階です —
- **委員会** —
- ◇8月26日（月） 予算決算委員会
～28日（水）
 - ◇9月10日（火） 各常任委員会、予算決算委員会分科会
～12日（木）
 - ◇9月18日（水） 予算決算委員会

横手市議会

Q 検索

横手市議会のホームページでは、
本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

